

昨日、福島市の環境審議会が開かれました。夏休みを生かして、本会代表2名がこの様子を傍聴してきました。以下、簡単ながら、本会の視点から見た問題点の報告です。

まず、今回、傍聴して驚いたのは、同審議会を取材するメディアも傍聴する市民もゼロであったことです。昨年、メガソーラー規制条例案が審議されたころの審議会には、一定数のメディアや市民傍聴者の姿がありました。しかし、今回、我々以外は全くゼロでした。誰も監視・注視する人がいないのです。これは環境問題に対して、市民やメディアの関心が持続しないという問題もありましょうが、そもそも真夏の平日の午後に審議会の日時を設定し、かつ開催予定を積極的に広報しない市側の姿勢にも問題があるように思いました。

今回の主な議題は福島市の環境計画案について意見聴取であり、メガソーラー問題自体が議題に上ることはありませんでした。しかし、審議会の冒頭において、審議委員長である東北大の中田俊彦教授から、非常に示唆に富む大事な発言がありました。すなわち、同委員長によれば、現在、先達山で起きているメガソーラー問

題は、新たな種類の公害の誕生を予見させるものであり、日本社会が、四大公害病という重く苦い教訓を経て、ようやく環境問題を真剣に受け止めるようになった経緯に照らせば、福島はこのメガソーラーという問題に先駆的に取り組む立場にあり、それだけに審議委員はじめ市民の働きが期待されているという趣旨の発言です。実に優れたご洞察とご見識であり、本会代表はいずれも心中すくなくからぬ感動を覚えました。

しかし、悲しいかな、当の環境審議委員たちには、この委員長発言の意味や重みがあまり伝わらなかったようです。というのも、その後の審議過程や意見交換において、先達山問題を積極的に話題にする委員は少なく、十分な情報や関心に裏付けられた発言をする委員も見当たらなかったからです。むしろ、逆に何人かの委員については、先達達山問題を論じるには、その所属先や発言内容に照らして、不適切でないかと、その人選に首をかしげたくくなりました。

その筆頭にあげるべき委員は、東邦銀行の総合企画部長兼サステナビリティ戦略推進課長の鈴木孝典氏です。東邦銀行は、先達山事業に20億円を融資し、収益をあげている地元の銀行です。かつ、そのサステナビリティ戦略推進課長の鈴木氏ですから、おそらく

再エネ事業投資に直接に関わる立場にあり、まさに事業当事者と言えます。このような人物が市の環境審議員会に名を連ね、先達山問題について言及される議論を聞き、発言もするのですから、これでは審議会の公正性が疑われます。これは「利益相反」のケースには当たらないのでしょうか？市役所と東邦銀行に追って見解を尋ねてみたいと思います。少なくとも、私たちは、先達山に融資し、環境破壊を推し進める企業の幹部を環境審議委員に任命した市長の見識を疑いますし、こうした点にも行政と企業のなれ合い、癒着の臭いを感じます。

次にテレビユー福島(TUF)の報道制作局の専門局長の深谷茂美氏です。テレビユー福島は、これまで本会が開催した先達山問題に関する報告会や事業者との対話会に、一度も参加せず、全く取材を行わなかった唯一の報道機関です。先達山問題を詳しく報じようとしない福島民報や民友ですら、毎回、現場の記者は参加し、取材自体は行っています。しかし、TUFだけは、記者を送って取材させることすらしておりません。ところが、よりによって、そのTUFの報道制作の責任者が、環境審議員に名を連ねているのですから、先注会として

は、この人選も疑問視せざるを得ませんでした。もっとも、深谷委員が議論の中で「既存の再エネ施設に対しても市民の目で見ているという事実を伝えるのが重要だ」といった趣旨の発言をされたのには、我々も120%共感しました。しかし、同氏の指揮下にあるTUFの報道スタッフが、先達山問題を全く報じず、報道機関としての「注視」を等閑視している現状を知る我々は、委員の発言と実際のTUFの報道姿勢のギャップに苦笑せざるを得ませんでした。

最後に消費者団体懇談会会長の石高久美子氏。この方は委員長を押しつけて議事進行するかのごとき行動が目立つ、お元気な委員です。発言数・時間も際立って長く、審議会は、さながら同氏の独壇場と化しています。しかし、先達山問題について触れた発言の中身には不正確であったり、明らかに事実を反することを述べており、その見識に疑問を呈せざるを得ませんでした。本会についても、本会代表2名が傍聴席に座しているとも知らずに、全く筋違いの事を発言されており、本会や本会の発信する情報についても全く不勉強のまま発言されていると確信を得ました(実際、パソコンは使用しないと発言されており、ネットは見ないようです)。

なお、この審議会は後日、議事録がネットで公開されるということです、それが公開されたのち、本会としても改めてコメントしたいと思います。

ちなみに今年度の審議会の委員名簿、前回の審議会の議事録その他関連資料は、市役所の以下のリンクですべて公開され、DL 可能です。

<https://www.city.fukushima.fukushima.jp/soshiki/8/1034/1/1/14636.html>

本会もすべてに手は回りませんが、ぜひとも今後は、住民・市民の皆さんと手分けして、環境審議会への「注視」を続ける必要があると感じた次第です。以上、感想がてら報告まで。

2025 年 8 月 23 日 先注会代表 松谷基和